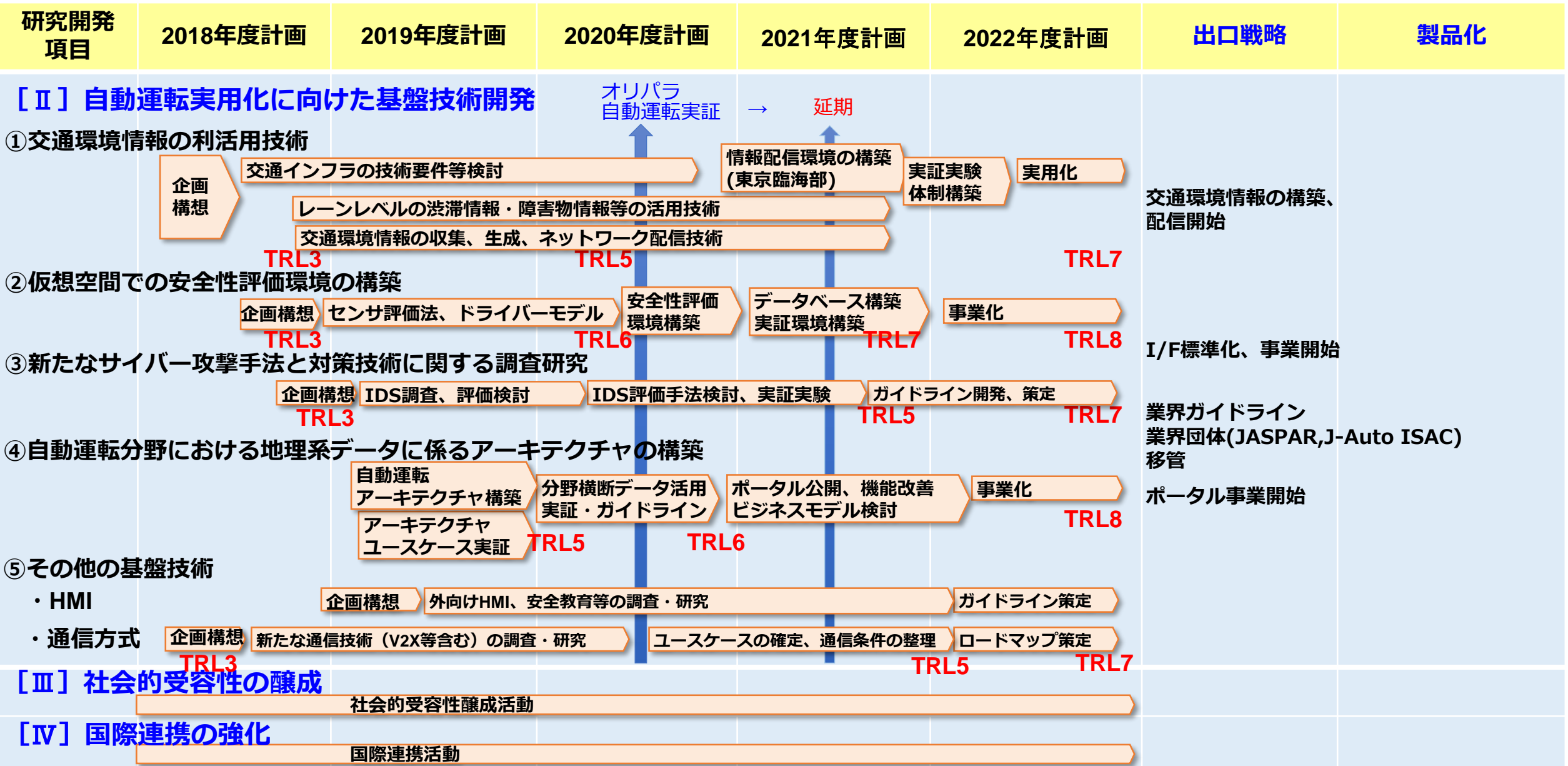


# 自動運転(システムとサービスの拡張)研究開発計画工程表

研究開発項目	2018年度計画	2019年度計画	2020年度計画	2021年度計画	2022年度計画	出口戦略	製品化
<p><b>[ I ] 自動運転システムの開発・検証 (実証実験)</b></p> <p>(1) 東京臨海部実証実験</p> <p>オリパラ自動運転実証 → 延期</p> <p>① 一般道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーナーカー 公道実証エリア基盤整備 信号情報利用</li> <li>・公共バス、少人数輸送サービス</li> </ul> <p>② 高速道 (都市間高速)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーナーカー 合流支援等</li> </ul>							
	<p>インフラ機器開発と実証環境準備 TRL4</p> <p>インフラ協調他実証環境整備 TRL4</p>	<p>自動運転実証 TRL4</p> <p>官民連携による実証 TRL4</p> <p>長期実交通流実態調査とインフラ実験機の設置実証実験 TRL4</p>	<p>交通環境情報の情報配信環境の構築 TRL5</p>	<p>レガシー化・商品化に向けた自動運転実証 TRL5</p>	<p>TRL8</p> <p>TRL7</p> <p>TRL7</p>	<p>オーナーカー (一般道レベル2以上) 運転支援の高度化</p> <p>都市公共交通システム 少人数輸送サービス 事業化 (一般道)</p> <p>オーナーカー (高速道路レベル4) (2025年目途)</p> <p>トラック (高速道路レベル4) (2025年目途)</p>	<p>2025年以降</p>
	<p>長期実証実験 TRL5</p>	<p>システム改善 TRL8</p> <p>制度改正 TRL8</p>	<p>社会実装 TRL9</p> <p>移動サービス事業化 (他地域への展開) TRL9</p>			<p>移動サービス レベル4 事業化 (2020~)</p>	<p>2020年以降</p>
<p>民間からの拠出 (人材、物資、資金等) は、研究開発費等の総額 (SIP予算と民間からの拠出との合計) の1/3以上を目指す。 (5ヶ年全体)</p> <p>※TRLは計画策定時の期待値であり、今後の研究に応じて変更がありうる。</p>							

# 自動運転(システムとサービスの拡張)研究開発計画工程表



※TRLは計画策定時の期待値であり、今後の研究に応じて変更がありうる。